

滞在中の注意事項

1. 治安・一般的注意事項

当国においてはイスラーム法(シャリーア)による刑罰をもって犯罪に臨んでいるので、一般的には治安状況は他国と比して良好といえる。一方、外国人の中で失業者、貧困層が増えており犯罪も年々漸増しているため、過度の警戒は不要としても常に用心を怠らないことが必要である。また滞在中、滞在許可証(イカーマ)または旅券の常時携帯が義務づけられており検閲により提示を求められることがある。またイスラームの宗教上の行事やしきたりについては特に留意する必要があり、これを専門に取り締まる勸善懲悪委員会(通称:宗教警察 / ムタワ)と呼ばれる機関も存在する。

2. 通関

通関時の検査はイスラームの戒律に従った非常に厳しいものであり、以下の物の持ち込みは禁止されている。

(1) 一切の酒類(アルコール分を含むもの)、(2) 豚肉(ベーコン、ハム等)、(3) ポルノ雑誌・ビデオ類(一般の雑誌でも女性の水着写真等があれば不可)、さらに断食月から巡礼月にかけて食料品の持ち込みは一切禁止である。これら禁制品が見つかった場合、没収及び始末書に留まらず、時には投獄の後、国外追放されることもある。(なお、麻薬取り締まりについては特に厳しく当局は死刑をもって臨んでいる。)

3. 空港から市内へ

キング・アブドゥル・アジーズ国際空港がジッダの表玄関である。この空港は王室専用、巡礼専用、一般用と3つのターミナルから構成されている。一般用ターミナルには外国航空会社専用の北ターミナル、サウジアラビア航空(SAUDI A)専用の南ターミナルがある。市中心部への主な交通機関はリムジンタクシーで、北ターミナルから35キロ、所要時間約40分、料金は約50リアルで、南ターミナルから20キロ、所要時間約30分、料金は約30リアルである。

4. 出国

国際線のチェックインは最低出発2時間前までに行うのが望ましい。また出稼

ぎ労働者の多いアフリカ、アラブ、アジア各方面へのフライトを利用する場合、また断食月、巡礼月、学休期間等の場合にはさらに早めのチェックインが望ましい。またチェックイン時の金属探知ゲートは非常に敏感で検査は厳しく、靴、ベルトなどを脱ぐよう指示されることもあるのでズボン、シャツなどのポケットに入っている物はなるべく鞆などに入れておいた方がよい。

5. 通貨

当国の通貨単位はサウジ・リアル(SR)で、1米ドル≒3.75リアル(固定レート)、1リアル≒34円(2008年1月現在)である。両替は、空港内の銀行、市内の両替店またはホテルなどで可能。また、ホテルでは米ドルがそのまま通用するが、レートは悪く、銀行、両替商で換金するのが得策である。

当地の商習慣では、現金決済が一般的であるので小切手、トラベラーズ・チェック(T/C)は共に通常の支払いでは使用できない。クレジットカードは徐々に普及してきており、高級品取扱店や買い物の単価が大きくなりがちな店、大手レストラン・スーパー、ホテルなどではメジャーなクレジットカード(VISA、Master、AMEX、Diners)であればほぼ問題なく通用する。とりわけVISA、Masterはその通用度が高いようである。ただ、やはり通常の小売店ではまだまだクレジットカードでの支払いを受け付けていない所が多い。

6. 国内移動

入国都市以外の都市あるいは地方を訪問する際には、滞在許可証ないし旅券のほかに入国にあたり身分保証を行ったサウジ人スポンサーからの旅行許可書の常時携帯が義務づけられている。この旅行許可書(トラベルレター)には関係当局の承認印が必要である。

7. 服装

女性は腕、足など肌を露出するような服装で出歩かないこと。外国人女性も外出時にはアバーヤ(黒衣)やスカーフを着用しなければならない。男性の半ズボン姿も避けなければならない。他方、日差しがきつく、UVカットの日焼け止めクリームやサングラスの常時使用をお勧めする。

8. 写真撮影

空港、港湾施設、軍事施設、国の重要施設および王宮の撮影は禁止である。また女性を撮影してはならない。しかし何が具体的に重要施設に当たるかは曖昧であり、関係当局の許可を取らない限り、事実上写真撮影は禁止されていると考えた方が良い。撮影禁止を破ったと思われる場合、フィルム又はカメラを没収され、時には長時間にわたって治安当局に拘留され取り調べを受けることもある。

9. チップ

空港のポーターには荷物1個につき10リヤルが相場となっている。ホテルのボーイには3リヤル程度。レストランではサービス料が通常含まれるが、小銭を置く習慣がある。

10. 買い物

近代的なショッピングセンターから、アラブ的なスークまで様々な店がある。店頭に置かれるものも一流ブランド品から伝統的工芸品まで様々である。商店営業時間の目安は以下になる。なお、お祈り(サラ)の時間には一時閉店するので買い物する時間帯に注意する必要がある。

専門店: 10:00～13:00 17:00～23:00 金曜日閉店 但し、一部の店は金曜日夜も開店。

スーパーマーケット: 8:00～23:00、又は24時間営業、金曜日も開店。

11. 交通機関

(1) 公共交通

ジッダ市内の公共交通は、バスのみである。主要都市間及び市内にはバスのネットワークがかなり発達しているが、外国人にはルートがわかりにくいので使用は困難。

(2) レンタカー・タクシー

レンタカーは、空港、一流ホテル等で、有名会社のを運転手付き、無し、のどちらでも借りることができるが、女性の車の運転は一切認められていない。

タクシーは乗車前に値段交渉の必要がある。但し、女性1人での利用は避けた方が無難。

12. 宗教上の日課、行事

(1)お祈り(サラール)

イスラームの日課であるサラールの時間には、1日5回マッカの方向に向かって祈る。サラールの時間帯は季節および地域によって30分から1時間ほど前後する。

お祈りの時間を告げる合図(アザーン)がモスクから流れると、ホテル、空港等を除くほぼ全ての店が30分近く閉店となる。なお、一部のレストラン、スーパーマーケットではサラールの時間中店内に留まることが認められているが、店外へは出られないので要注意。

(2)休日、祝日

イスラーム暦(1年約354日)を基準としているので、官庁は木、金曜日が休み、その他のオフィス等は木曜日が半日、金曜日は終日休みのところが多い。祝日は断食月後の約一週間、巡礼月の約10日間等。

(3)断食月(ラマダン)

イスラーム暦第9月は、断食月と決められている。断食は日の出から日没前まで一切の食物を断つもの、非イスラーム教徒の滞在者も日中、人前での飲食、喫煙は禁止されており、飲食店は全て閉店となる。この期間、日中の活動は大幅に低下する。2008年は9月1日から約1ヶ月間。

(4)大巡礼(ハッジ)

イスラーム暦第12月の8日から13日(2008年は12月7日から12日の予定)にマッカで行われるイスラーム世界最大の行事。世界各国から約150万人、国内から約100万人の巡礼者、及び内外からの要人を迎える準備のために西部地区は普段にも増して取締まりなどが厳しくなる。また巡礼期後2～3ヶ月は不法滞在者に対する取締まりも厳しくなり滞在許可証(イカーマ)、または旅券を所持していないと拘禁されるので、常時携帯が必要である。